

シングルキック®箱粒剤

●1成分で2つの作用性(メラニン生合成阻害 MBI-P と病害抵抗性修道)を持つトルプロカルブを配合し、いもち病菌を強力にブロックします。
●農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載された農薬です。

シングルキックは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分・・・(%)	トルプロカルブ・・・6.0%	危険物	—
性状	類白色細粒	有効年限	5年
毒性	普通物*	包装	1kg×12

*普通物：「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

2023年7月19日付内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルプロカルブを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 内穎褐変病 白葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病	育苗箱(30×60×3cm 使用土壌約5L) 1箱当り50g 高密度には種する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50~100g)	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する。	2回以内 (移植時までの処理は 1回以内、本田での湛 水散布、無人航空機散 布、投げ入れは合計 1回以内)
稲	いもち病	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	

使用上の注意事項

- 本剤を育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ること。
 - 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
 - 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
 - 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。
 - 葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布すること。
- 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
- 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----
通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----
直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管すること。